

## 第5回審議会までの積み残し事項の整理

※網掛けは、第6回審議会でご議論いただきたい事項

委員名	ご指摘・ご意見の内容	頁	対応方法	第6回までの着地点
●序論第2章第1節の2について				
1 北澤委員	素案の内容が従来型の議論となっている。	P6	「2. 環境問題の重要性の高まり」について、北澤委員から修正案をご提案いただいたので、内容を紹介する(内容については、現在所管課と調整中である)。【別紙 P1】	
●分野別計画第2章について				
2 北澤委員	2-1-2施策5について、自然林を樹林地と言い換えてはどうか、また、主要事業の里山の保全について、具体的に記述をしてはどうか。	P74	事務局にて補足説明と対応方針を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P3】	
3 北澤委員	2-1-3-1生物多様性の確保については、「生物多様性地域戦略」の策定自体を目標の中に組み込んでいけばよいのではないかと。また、2-1-3全般について、生物多様性や自然環境に関連する内容が不十分である(変更文案の提出あり)。	P76 P77	事務局にて補足説明と対応方針を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P4】	
●分野別計画第6章について				
4 有馬委員	6-3-1全般について、対症療法的で、船橋市が何をしたいのかが見えない。表現も含めて、指標を打ち出すことが必要ではないか。 <u>女性の管理職への登用については仕事と生活の調和の推進体制の整備の検討も含めて、促進が図られるよう期待したい。</u> <u>今後の計画期間においてどこまで努力するのかという積極的な姿勢を見せたほうが良い。</u>	P168	事務局にて補足説明と対応方針を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P8】	
●分野別計画第7章について				
追加① 金沢委員	7-1-1のタイトルを「住民が主人公」を実現する市政運営 に変更する。併せて、7-1-1《現状と課題》の文章を、別紙 P9のとおり全面改定する。	P174	事務局にて補足説明と対応方針を整理。ご議論をお願いしたい。【別紙 P9】	
5 金沢委員	7-1-1《現状と課題》で、地域主権改革の進む中、財源の裏付けのないまま地方自治体に権限を移譲することが問題となっている。地方自治体にとっては財源確保が焦点となる。財政問題にも触れる必要がある。	P174		
追加② 金沢委員	7-1-1施策2)都市ブランドの確立 の主要事業として、「民間の公共的活動が育つための環境整備」を追加する。	P174		
6 山下委員	7-1-1について、「都市ブランド」や「選ばれる都市」について説明がほしい。	P174	「都市ブランド」については7-1-1の注釈に記載している。「選ばれる都市」については注釈を加えて、住民がライフステージごとに住むまちを選ぶ傾向が強まる中、地方自治体は行政サービスやまちづくりの質を高め、人や企業から積極的に選ばれる魅力を備えることが必要となっている旨を記載する。	

	委員名	ご指摘・ご意見の内容	頁	対応方法	第6回までの着地点
追加③	金沢委員	7-1-2《現状と課題》の8～11行目の文章を、別紙 P11のとおり変更する。	P176	事務局にて対応方針を提示。ご議論をお願いしたい。【別紙 P11】	
7	金沢委員	7-1-2[施策の方針]で「限られた行政資源で最大の効果をあげることができる」とあるが、最大の効果とは誰にとってか？（市民にとってのはず）。財政削減の額を「効果」と捉えて行政改革を進めた結果、市民が不便な思いをするのは困る。	P176	P173に記載のあるように、第7章の記載事項（行政改革を含む）は、それ自体が目的ではなく、1～6章の政策を着実に実施するための方策と位置付けている。つまり、最大の効果とは市民にとっての効果であることから、その旨を明確化し、「限られた行政資源で最大の効果～」の部分を、「《住民福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で》最大の効果～」と変更する。	
追加④	金沢委員	7-1-2[施策の方針]の2行目「また～」以降の、下記の文章を削除する。 削除⇒ また、計画的に行政改革を進め、限られた行政資源で最大の効果を上げることのできる、効率的・効果的な行政運営を行います。	P176		
追加⑤	金沢委員	7-1-2施策2)行政改革の推進 の項目を、本文・主要事業ともに削除する。	P177	行政改革については、市として推進していくことが必要と考えているため、施策2)行政改革の推進は削除しない。	

委員名	ご指摘・ご意見の内容	頁	対応方法	第6回までの着地点
8 山下委員	7-1-3《現状と課題》で、「市債等の借金も少ない状態など比較的健全な状態」とあるのに、「歳出に占める経常的な経費(扶助費や人件費、公債費等)の割合が高い」と記載されている。市債と公債費の違いは何か。この文章は矛盾しないのか。	P180	《現状と課題》の冒頭部分を再考し、わかりやすい表現に改める。財政用語には注釈を付ける。	
9 金沢委員	公債費などの行政用語が分かりにくい。用語解説を補うか、款・項・目の表記の混在を整理すべきではないか。	P180		
10 金沢委員	7-1-3施策1)歳入の確保で、主要事業として「公金徴収の一元化の推進」が挙げられているが、銀行口座の差し押さえなどが含まれており、人生設計を無視した制度である。「多様な徴収方法の導入」を進める方が望ましいのではないか。  【追加】 主要事業のうち、「公金徴収の一元化」は削除する。	P181	事務局にて補足説明を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P12】	
11 金沢委員	7-1-3施策2)資源の効果的な活用で、主要事業として「市有財産の有効活用」が挙げられているが、危険である。具体的に何を意図しているのか明示すべきである。	P181	事務局にて補足説明と対応方針を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P14】	
追加⑥ 金沢委員	7-1-3施策2)資源の効果的な活用で、主要事業「市有財産の有効活用」については、「未利用地の活用や企業や団体に施設を貸し付ける場合の利用料の適正化」に変更する。	P181		
追加⑦ 金沢委員	7-2-1《現状と課題》から、7～8行目の2行を削除する。  削除⇒ さらに、本市は平成15年に中核市に移行したことで、市としての自立性・総合性を高め、東葛飾・葛南地域の中核として周辺圏域をリードする役割も担っています。	P182	広域的な連携の推進においては、中核市である本市の周辺圏域をリードすべき役割を認識して、近隣市と協力しながら取り組むことが必要を考えられるため、当該個所の削除は行わない。	
12 金沢委員	7-2-1施策2)国や関係自治体との政策調整の推進で、本文中に「国・県事業の積極的な導入を図ります」とあるが、国・県事業の導入は多大な財政負担を伴う。船橋市には国・県の施設が多く、既に港湾や県道の整備などで負担を負っている。連携は必要だが、積極的な導入は不要ではないか。  【追加】「国・県事業の積極的な導入を図ります」という文章を削除して、「～相互協力を図ります」とする。	P183	事務局にて補足説明を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P16】	

委員名	ご指摘・ご意見の内容	頁	対応方法	第6回までの着地点
●リーディングプランについて				
13 森田委員	各リーディングプランがある中で、船橋市として、選択と集中により何を優先的に行っていくのかを示す必要があるのではないか。		事務局にて補足説明と対応方針を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P17】	
14 有馬委員	リーディングプラン(の定義)についての共通理解が必要だと思う。また、(リーディングプランを)ただ並列するのではなく、何が重要課題で何が最重要課題か示すほうが、理解しやすくなるのではないか。			
15 河村委員	《横断分野と関連施策》が並びすぎ。実際にはこの中からさらに絞り込んでいくのだろうと思うが。			
16 武藤会長	リーディングプランの意義、具体的な対応方法を示してほしい。例えば、担当部長をつけて進行管理をする、予算を1割アップするなどの具体的な意味があるのか。		上記別紙資料の通り、リーディングプランの実現に寄与する事業については、実施計画、事業査定、(予算の策定)の過程の中で積極的に位置づけ、進行管理としては、特にリーディングプランの推進に寄与する取り組みについては、積極的に位置づけられることを庁内に周知したうえで、企画調整課として、相乗効果が見込まれる組み合わせも検討の一つとすることで、リーディングプランの推進を図るものとする。	
17 斎藤(哲)委員	分野横断的なリーディングプランを進めていくには体制が必要。これについて言及する必要があるだろう。			
18 武藤会長	5つのリーディングプランから、船橋をイメージできない。海や里山、東京湾の最奥部に位置するなどの地域性を出せないか。		事務局にて補足説明と対応方針を整理。引き続きご議論をお願いしたい。【別紙 P19】	
19 河村委員	5つのリーディングプランをどのような視点で選んだかが見えてこない。「船橋市」を「日本」と読み替えても通用するよう感じる。安心・安全が最重要課題なのは、全国共通ではないか。船橋市民の安全・安心を守るための特色が現れるようにした方が良い。			
20 本木委員	リーディングプラン案は、市民アンケートや市民会議等を集約し、市民ニーズを踏まえて作られている。日本人全般のニーズと船橋市民のニーズが共通しているため、船橋市の固有性があまり出ていないのではないか。			